

## 平成18年度環境技術実証モデル事業検討会 ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ設置要綱

### 1. 開催の目的

環境技術実証モデル事業の実施にあたり、平成18年度に技術実証を行うこととされた技術分野「ヒートアイランド対策技術」に関し、専門的知見に基づき検討し、本事業の円滑かつ効率的な推進に資するため、ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置する。

### 2. 調査検討事項

- (1) ヒートアイランド対策技術分野（空冷室外機から発生する顕熱抑制技術）について
  - ① 実証試験ニーズに関する確認
- (2) ヒートアイランド対策技術分野（日射遮蔽フィルム、高反射性・遮熱塗料等）について
  - ① 実証試験要領の策定
  - ② 実証機関の選定
  - ③ 実証試験報告書の確認
  - ④ その他事業の実施に関する事項
- (3) 将来的な実証試験のあり方及び技術分野の候補の検討について

### 3. 組織等

- (1) ワーキンググループは、検討員10名以内で構成する。
- (2) ワーキンググループに座長を置く。
- (3) 座長は、ワーキンググループを総理する。
- (4) 検討員は、ヒートアイランド対策技術の実証試験に関連する学識経験者、有識者等から環境省水・大気環境局の同意を得て三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が委嘱する。
- (5) 検討員の委嘱期間は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が委嘱した日から当該日の属する年度の末日までとする。
- (6) 必要に応じ、個別具体的な検討を行う拡大ワーキンググループ会合（ステークホルダー会議）を設置する。
- (7) その他、必要に応じ環境技術実証モデル事業に参画する者、利害関係者等をオブザーバー等として参加させることができることとする。

### 4. 審議内容等の公開等

本ワーキンググループは原則、公開で行うこととする。但し、公開することにより、公正かつ中立な検討に著しい支障を及ぼすおそれがある場合、特定な者に不当な利益もしくは不利益をもたらすおそれがある場合には、座長はワーキンググループ及び拡大ワーキンググループ会合を非公開にできるものとする。

### 5. 庶務

ワーキンググループの庶務は、環境省水・大気環境局の同意を得て、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社において処理する。

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会  
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ 検討員名簿

足永 靖信 独立行政法人 建築研究所環境研究グループ 上席研究員

石野 久彌 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授

前川 佳之 大阪府環境農林水産部

みどり・都市環境室地球環境課 課長

佐土原 聡 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

下田 吉之 大阪大学大学院工学研究科 助教授

森川 泰成 大成建設株式会社建築技術開発部 部長

<事務局（環境省）>

矢作 伸一	水・大気環境局環境管理技術室	室長
五十嵐元一	同	室長補佐
奥 博貴	同	企画係長
藤本 正典	水・大気環境局大気生活環境室	室長補佐
高原 洋介	同	調整係長
豊住 朝子	総合環境政策局環境研究技術室	調整専門官

<事務局（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）>

齊藤 栄子	環境・エネルギー部	主任研究員
吉澤 直樹	環境・エネルギー部	研究員
加山 俊也	環境・エネルギー部	研究員
清水孝太郎	環境・エネルギー部	研究員